【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公表番号】特表2011-521966(P2011-521966A)
【公表日】平成23年7月28日(2011.7.28)
【年通号数】公開・登録公報2011-030
【出願番号】特願2011-511828(P2011-511828)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ　16/22　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/46　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　21/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ　16/22
Ｃ０７Ｋ　16/46
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ｃ１２Ｐ　21/08　ＺＮＡ

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月24日(2012.4.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ヒト塩基性線維芽細胞成長因子(FGF2)に結合し、中和するモノクローナル抗体(mAb)であって、遺伝子工学的に操作されたmAb。
【請求項２】
前記mAbは、キメラmAbである、請求項１に記載のmAb。
【請求項３】
前記mAbは、ヒト化mAbである、請求項１又は２に記載のmAb。
【請求項４】
前記mAbは、ヒトmAbである、請求項１から３のいずれかに記載のmAb。
【請求項５】
前記mAbは、FGF受容体FGFR1、FGFR2、FGFR3及びFGFR4のそれぞれに対するFGF2の結合を完全に阻害する、請求項１から４のいずれかに記載のmAb。
【請求項６】
前記mAbは、Mv 1 Lu細胞のFGF2誘導増殖を阻害する、請求項１から５のいずれかに記載のmAb。
【請求項７】
前記mAbは、マウスにおいてヒト腫瘍異種移植片の成長を阻害する、請求項１から６のいずれかに記載のmAb。
【請求項８】
前記mAbは、Fab又はF(ab’)2断片又は単鎖抗体である、請求項１から７のいずれかに記載のmAb。

【請求項９】
請求項１から８のいずれかに記載のmAbを含む、医薬組成物。
【請求項１０】
請求項１から９のいずれかに記載のmAbを含む医薬組成物を含有する、癌患者を治療するための治療薬。
【請求項１１】
FGF2への結合がハイブリドーマPTA-8864により生産される抗体と競合し、免疫原性を減少させたモノクローナル抗体(mAb)。
【請求項１２】
前記mAbは、マウスにおいてヒト腫瘍異種移植片の成長を阻害する、請求項１１に記載のmAb。
【請求項１３】
前記mAbは、ヒト化mAb又はヒトmAbである、請求項１１又は１２に記載のmAb。
【請求項１４】
請求項１１から１３のいずれかに記載のmAbを含む医薬組成物。
【請求項１５】
請求項１１から１４のいずれかに記載のmAbを含む医薬組成物を含有する、癌患者を治療するための治療薬。
【請求項１６】
前記癌は、肝細胞癌である、請求項１５に記載の治療薬。
【請求項１７】
PTA-8864ハイブリドーマにより生産される、マウス、キメラ又はヒト化型のmAb。
【請求項１８】
図１１Ａ(GAL-F2)（配列番号：１)の配列由来のCDRを有するヒト化軽鎖及び図１１Ｂ(GAL-F2)（配列番号：４)の配列由来のCDRを有するヒト化重鎖を含む、ヒト化抗体。
【請求項１９】
カバットナンバリングによる残基H1、H27、H30、H48、H67、H71及びH94は、図１１Ｂ(GAL-F2)（配列番号：４)に示される重鎖の対応する位置を占めている残基によって占められる、請求項１８に記載のヒト化抗体。
【請求項２０】
軽鎖可変領域が、図１１Ａ(HuGAL-F2)(配列番号：２)に示される配列と少なくとも95%の配列同一性を有し、重鎖可変領域が図１１Ｂ(HuGAL-F2)（配列番号：５)に示される配列と少なくとも95%の配列同一性を有する、請求項１８又は１９に記載のヒト化抗体。
【請求項２１】
図１１Ａ(HuGAL-F2)（配列番号：２)及び１１Ｂ(HuGAL-F2)（配列番号：５)に示される、3つの軽鎖CDR及び3つの重鎖CDRを含む、請求項１８から２０のいずれかに記載のヒト化抗体。
【請求項２２】
図１１Ａ(GAL-F2)（配列番号：１)の配列にかかる3つのCDRを有する軽鎖及び図１１Ｂ(GAL-F2)（配列番号：４)の配列にかかる3つのCDRを有する重鎖を含む、モノクローナル抗体。